

勘定奉行の



東証1部(4733)

株式会社 **オービックビジネスコンサルタント**

2011年5月19日

2011年3月期 決算
2012年3月期 事業計画 説明会

www.obc.co.jp

2011/3月期 決算の概要

このたびの東北地方太平洋沖地震により、被災された皆様、そのご家族の方々に對しまして、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い被災地の復興をお祈り申し上げます。

■ 震災の影響

- ◆ 営業所等の建物、人員等について、直接的な影響は受けておりません。
- ◆ 11/3月期の経営成績について、直接、間接的な影響はございません。
- ◆ 出荷状況について、震災直後は東北方面の出荷に少なからず影響がでましたが、4月中旬には東北方面への出荷がほぼできる状態になりました。

■ 今後の影響

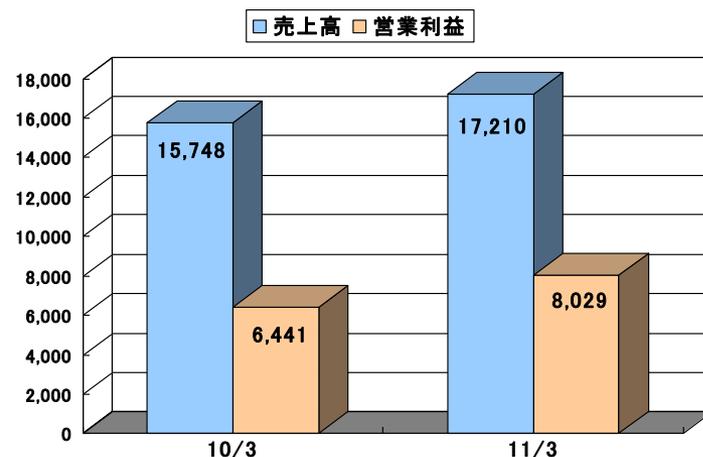
- ◆ 震災の影響により、約半年間、IT投資が先送りされると予想しております。

2011/3月期 決算の概況

売上高

前年同期比**9.3%増**

- ◆ソリューション … 前年同期比**29.4%増加**
- ◆関連製品 … 前年同期比**1.4%減少**
- ◆サービス … 前年同期比**1.2%増加**



売上総利益

前年同期比**10.4%増**

- ◆利益率が高いソリューション売上が伸長

営業利益

前年同期比**24.7%増**

- ◆地代家賃、賃借料、修繕費などのコストの削減効果により、営業利益は1,587百万円増加。
- ◆この結果、売上高営業利益率は46.7%となった。

経常利益

前年同期比**16.9%増**

- ◆営業利益の増加及び受取配当金の増加により、経常利益は**1,287**百万円増加

2011/3月期 決算の概要

(百万円)	10/3期		11/3期	11/3期		
		構成比(%)	予 想		構成比(%)	前期比(%)
売 上 高	15,748	100.0	16,500	17,210	100.0	9.3
売 上 総 利 益	13,135	83.4	13,700	14,499	84.2	10.4
販 売 管 理 費	6,694	42.5	7,000	6,470	37.6	△3.3
営 業 利 益	6,441	40.9	6,700	8,029	46.7	24.7
営 業 外 損 益	1,156	7.3	1,350	855	5.0	△26.0
経 常 利 益	7,597	48.2	8,050	8,884	51.6	16.9
当 期 利 益	4,343	27.6	4,700	4,801	27.9	10.5

部門別売上高

(百万円)	10/3期		11/3期	11/3期		
		構成比(%)	予想		構成比(%)	前期比(%)
ソリューション	4,852	30.8	5,300	6,278	36.5	29.4
関連製品	3,483	22.1	3,600	3,433	19.9	△1.4
サービス	7,413	47.1	7,600	7,499	43.6	1.2
合計	15,748	100.0	16,500	17,210	100.0	9.3

ソリューション

- ◆ 奉行21Ver.5及び奉行iへのバージョンアップ需要により、新ERP製品、LANPACK製品及びStandalone製品のバージョンアップ売上が増加
- ◆ 奉行V ERPは935百万円の売上を計上(対前年比+20.2%)
- ◆ オプションコンポーネントの売上は112百万円増加

関連製品

- ◆ サプライ製品売上が39百万円減少
- ◆ 奉行連動製品売上が53百万円増加、カスタマイズ収入が83百万円減少

サービス

- ◆ 奉行保守契約料は19百万円増加
- ◆ インストラクター指導料収入が143百万円増加、スクール事業収入が36百万円減少

ソリューション別出荷数量 (本数ベース、バージョンアップ含む)

(単位:本)	10/3期		11/3期		
		構成比(%)		構成比(%)	前期比(%)
奉行 V E R P	1,044	4.0	1,154	3.7	10.5
新 E R P	390	1.5	703	2.3	80.3
L A N P A C K	3,658	13.9	5,392	17.4	47.4
S t a n d a l o n e	19,118	72.9	21,847	70.6	14.3
J シ ス テ ム	2,013	7.7	1,872	6.0	△7.0
合 計	26,223	100.0	30,968	100.0	18.1

<前年との比較>

- ◆新ERP ……新規本数は51%増加、バージョンアップ本数は90%増加
- ◆LANPACK ……新規本数は28%増加、バージョンアップ本数は55%増加
- ◆Standalone ……新規本数は2%増加、バージョンアップ本数は19%増加
- ◆Jシステム ……新規本数は5%減少、バージョンアップ本数は12%減少、2011年秋に新製品出荷予定。

◆都銀向けOEM製品

- 2011年2月末稼働本数 : 38,528本
- 2010年2月末稼働本数: 41,277本

提供先	商品名	提供時期
UFJ銀行	U-LINE Xtra	1998年5月
東京三菱銀行	せるふバンク	2000年5月
三井住友銀行	パソコンバンク・ナビ・ジュニア	2000年9月
みずほ銀行	みずほ2000	2000年9月

◆地銀向けOFFICEBANK

- 当期出荷本数: 1,303本(前年同期: 884本)

販売費及び一般管理費の内訳

(百万円)	10/3期		11/3期		
		構成比(%)		構成比(%)	前期比(%)
売上高	15,748	100.0	17,210	100.0	9.3
販売及び管理費	6,694	42.5	6,470	37.6	△3.3
販管人件費	1,984	12.6	2,099	12.2	5.8
研究開発費	1,899	12.1	1,868	10.9	△1.6
広告宣伝費	539	3.4	534	3.1	△0.9
地代家賃	434	2.8	301	1.7	△30.6
減価償却費	95	0.6	84	0.5	△11.6
その他経費	1,743	11.1	1,584	9.2	△9.1

- ◆ 地代家賃: 本社オフィスの一部契約解除により133百万円減少
- ◆ その他経費: 賃借料、修繕費、支払手数料、派遣人件費が主な削減項目

貸借対照表－資産の部

		10/3	11/3	増減
流動資産	現金預金	31,802	32,662	860
	受取手形	150	231	81
	売掛金	4,083	4,432	349
	有価証券	—	7	7
	たな卸資産	177	169	△ 8
	その他	512	436	△ 76
	貸倒引当金	△ 17	△ 18	△ 1
固定資産	有形固定資産	287	287	0
	無形固定資産	176	156	△ 20
	投資その他の資産	35,558	37,668	2,110
資産合計		72,728	76,030	3,302

貸借対照表－負債・資本の部

		10/3	11/3	増減
	買掛金	216	207	△ 9
	未払金	1,199	339	△ 860
	未払法人税等	2,414	2,477	63
	前受収益	4,708	4,942	234
	その他	597	898	301
	退職給付引当金	648	699	51
負債合計		9,782	9,562	△ 220
	資本金	10,519	10,519	0
	資本剰余金	18,949	18,949	0
	利益剰余金	36,248	39,543	3,295
	有価証券評価差額金	2,398	2,625	227
	自己株式	△ 5,168	△ 5,168	0
資本合計		62,946	66,468	3,522
負債・資本		72,728	76,030	3,302

キャッシュ・フロー サマリー

	10/3	11/3	主な増減理由	
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,120	5,850	税引前利益	8,244
			投資有価証券売却損	374
			投資事業組合運用損	633
			関係会社整理損	566
			売上債権増加	△ 429
			法人税等支払	△ 4,174
			その他	636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,653	△ 3,463	定期預金の払戻し	500
			投資有価証券の取得	△ 10,944
			投資有価証券の売却	7,255
			その他	△ 274
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,520	△ 1,508	配当金支払	△ 1,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	△ 12		
現金及び現金同等物の増加額	1,962	867		
現金及び現金同等物期首残高	29,830	31,792		
現金及び現金同等物期末残高	31,792	32,659		

2012年3月期 事業計画

売上高

前期比2.4%減の168億円

(百万円)	上期(計画)	下期(計画)	通期(計画)
ソリューション	2,450	3,400	5,850
関連製品	1,450	1,850	3,300
サービス	3,700	3,950	7,650
合計	7,600	9,200	16,800

営業利益

前期比7.8%減の74億円

- ◆ 売上総利益率は83%と想定
- ◆ 販管費について、奉行V及びiシリーズの広告宣伝費を始めとする営業プロモーションコストの増加を1億円見込む

経常利益

前期比1.3%増の90億円

- ◆ 上場リート、債券型投資信託からの配当金収入を20億円見込む
- ◆ 金融商品の損失額を4.0億円見込む

12/3月期 通期事業計画

(百万円)	11/3期		12/3期 計画			
		構成比(%)		構成比(%)	増減額	前期比(%)
売上高	17,210	100.0	16,800	100.0	△410	△2.4
売上総利益	14,499	84.2	14,000	83.3	△499	△3.4
販売管理費	6,470	37.6	6,600	39.3	130	2.0
営業利益	8,029	46.7	7,400	44.0	△629	△7.8
営業外損益	855	5.0	1,600	9.5	745	87.1
経常利益	8,884	51.6	9,000	53.6	116	1.3
当期利益	4,801	27.9	5,300	31.5	499	10.4

部門別売上高

(百万円)	11/3期		12/3期 計画			
		構成比(%)		構成比(%)	増減額	前期比(%)
ソリューション	6,278	36.5	5,850	34.8	△428	△6.8
関連製品	3,433	19.9	3,300	19.6	△133	△3.9
サービス	7,499	43.6	7,650	45.6	151	2.0
合計	17,210	100.0	16,800	100.0	△410	△2.4

ソリューション

- ◆ 奉行シリーズはVer.5、iシリーズ共に新ERP、LANPACK製品及びStandalone製品のバージョンアップの需要はあると思われるが、震災の影響により投資が先送りされると予想
- ◆ 奉行VシリーズはIFRS対応に伴う需要は継続して発生

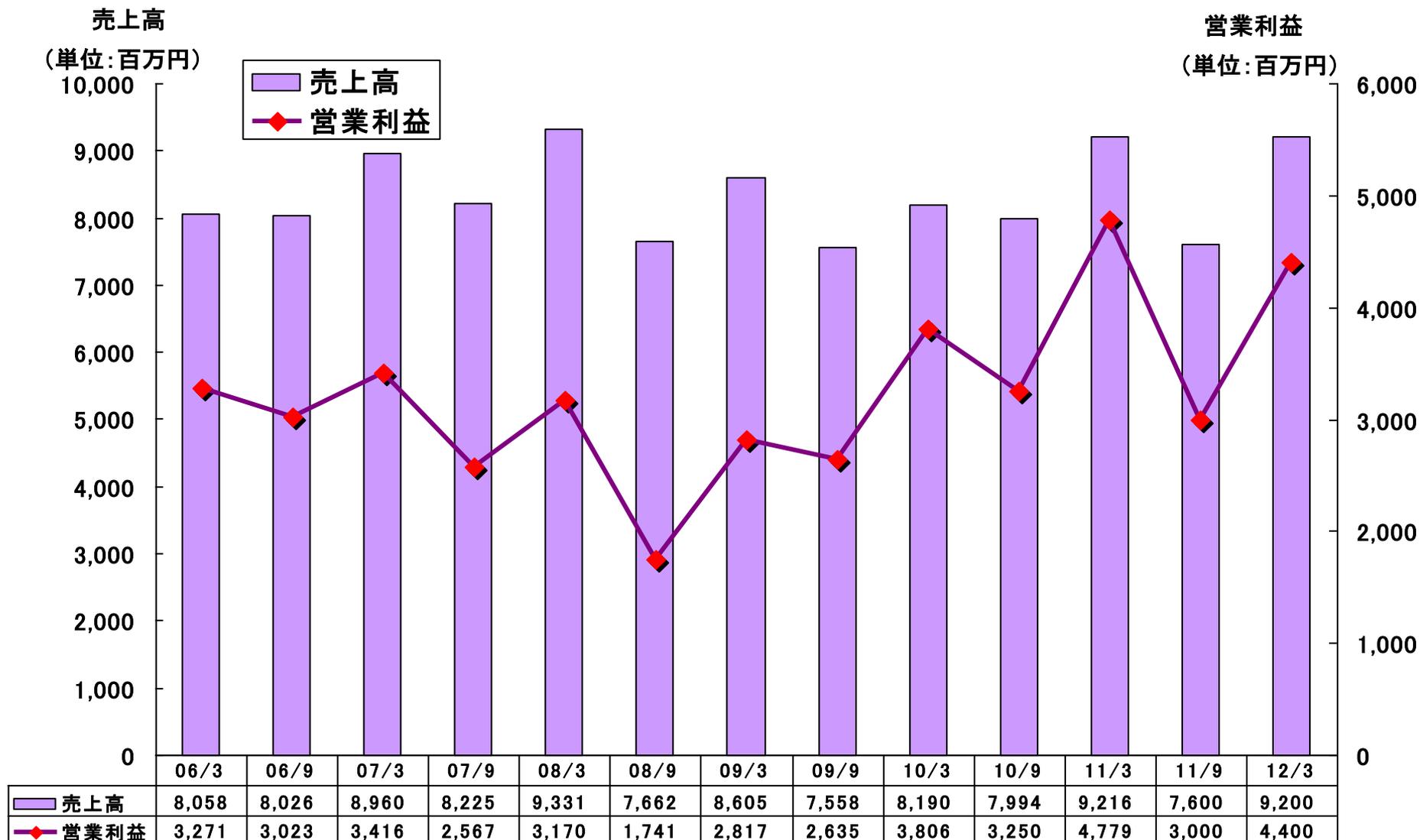
関連製品

- ◆ 奉行連動製品の売上及びカスタマイズ収入が減少

サービス

- ◆ 奉行保守契約料が増加に転じる

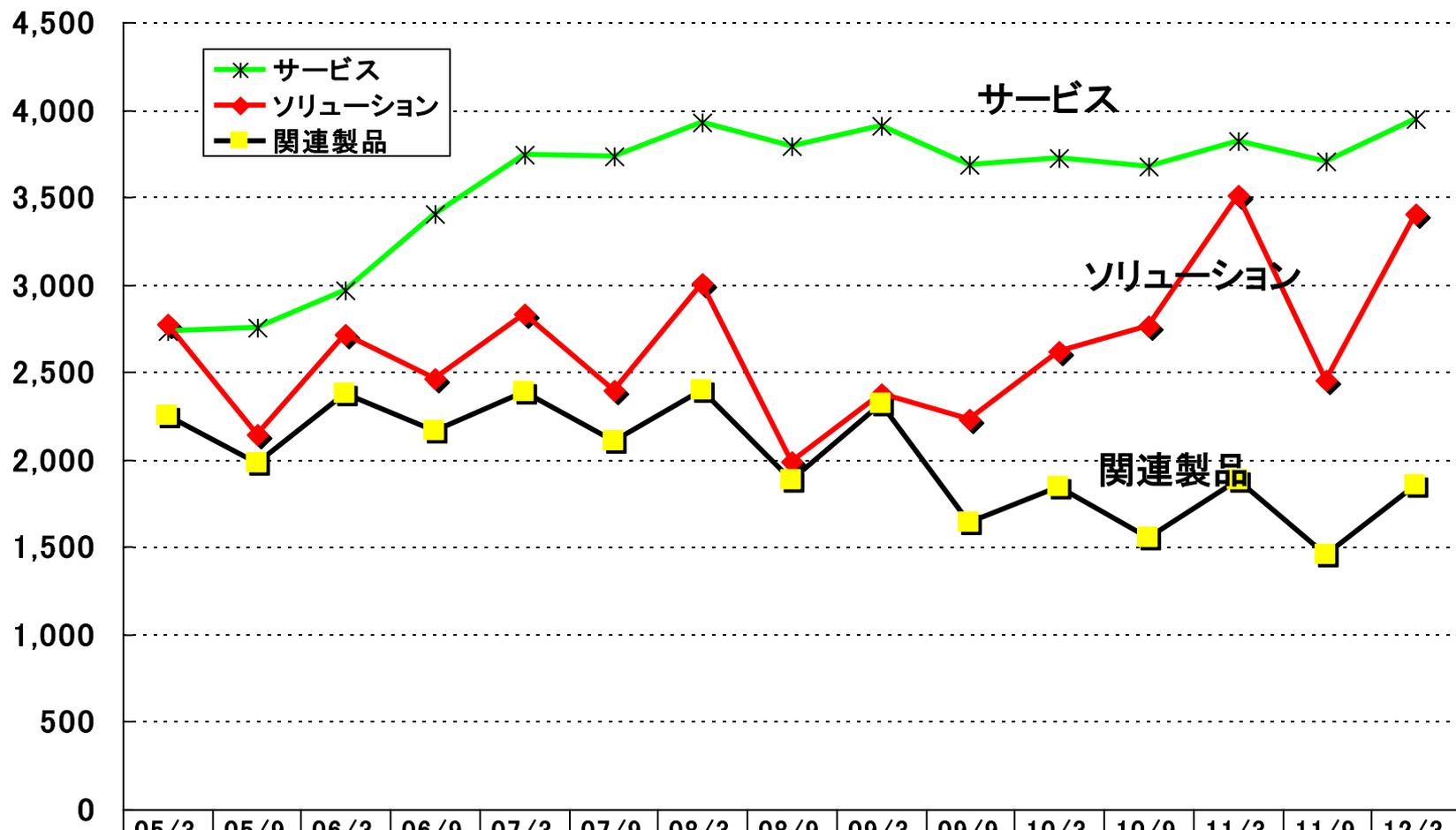
業績の推移(半期ベース)



← 予想 →

品目別売上高(半期ベース)

(単位:百万円)

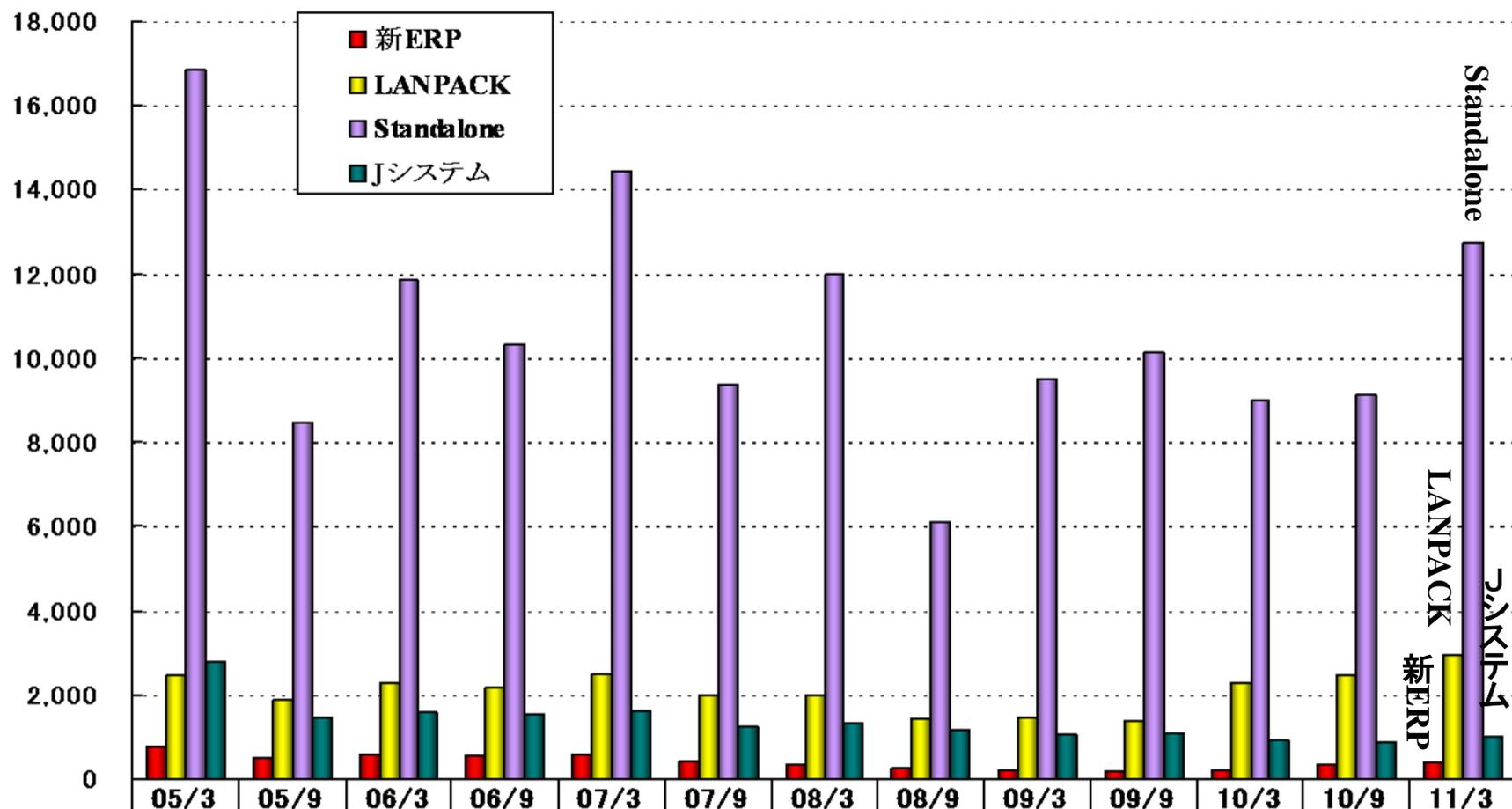


	05/3	05/9	06/3	06/9	07/3	07/9	08/3	08/9	09/3	09/9	10/3	10/9	11/3	11/9	12/3
＊ サービス	2,733	2,755	2,966	3,402	3,741	3,730	3,928	3,789	3,910	3,686	3,727	3,677	3,822	3,700	3,950
◆ ソリューション	2,769	2,148	2,712	2,463	2,836	2,392	3,007	1,989	2,378	2,232	2,620	2,765	3,513	2,450	3,400
■ 関連製品	2,249	1,978	2,380	2,161	2,383	2,103	2,396	1,884	2,317	1,640	1,843	1,552	1,881	1,450	1,850

← 予想 →

ソリューションの出荷数量(半期ベース)

(単位:本)



■ 新ERP	740	507	588	522	575	425	347	256	213	175	215	314	389
■ LANPACK	2,452	1,863	2,261	2,137	2,469	2,007	2,006	1,417	1,436	1,361	2,297	2,454	2,938
■ Standalone	16,837	8,449	11,855	10,339	14,421	9,393	11,977	6,115	9,507	10,119	8,999	9,116	12,731
■ Jシステム	2,765	1,472	1,566	1,521	1,635	1,238	1,314	1,148	1,038	1,090	923	889	983

- ◆ 奉行iシリーズをメインプロダクトとして成長させながら、お客様へ新たな価値をご提案し、停滞するIT投資を喚起

中小企業市場向け

基幹業務システム

奉行iシリーズ

- ◆ バージョンアップ
- ◆ サポート/メンテナンス

パッケージ(奉行)
にフォーカス

通信・ネットワーク(PaaS)

- ◆ 環境の変化に合わせて『奉行』を展開
- ◆ この分野でのデファクトスタンダードを目指す

Microsoftのテクノロジー(Azure)

IFRS対応、GMS(グループ経営)

フルクラウド時代へ

中堅企業市場向け

戦略的統合基幹業務システム

奉行V ERP

- ◆ 奉行V ERPをベースにIFRSロードマップやグループ効率化の提案を通じ、市場ニーズに応える製品を投入

- ◆ IFRS対応
- ◆ グループ経営の強化
- ◆ コスト削減パッケージ化ニーズ

中規模・小規模
企業向けモデル



- ◆ **拡張性**
企業の成長と共に拡張するシステム
- ◆ **機能性**
幅広い規模や業種に適合する標準機能
- ◆ **操作性**
企使い易さを追求した操作性

ネットワーク対応基幹業務システム
奉行i NETWORK

社内ネットワーク運用

奉行iサーバー
SQL Server
2008 R2



カスタマイズネットワーク構築システム
奉行i 新ERP



戦略1

戦略製品の強化 = 償却奉行(固定資産奉行)強化へ

IFRS



戦略2

パートナー戦略マップの構築

戦略3

メンテナンスサービスの基盤構築

フォーカス

「中小企業情報基盤強化税制」

奉行シリーズも
税額控除・特別償却
の対象に！

対象期間：平成23年6月30日まで

IFRSへのロードマップ

今後も継続する会計基準のコンバージェンスに対し、
実務に即した製品機能強化を行うとともに、IFRSのアドプションに対しても適確に対応へ

2010年3月期 2011年3月 2012年3月 2013年3月 2014年3月 2015年3月

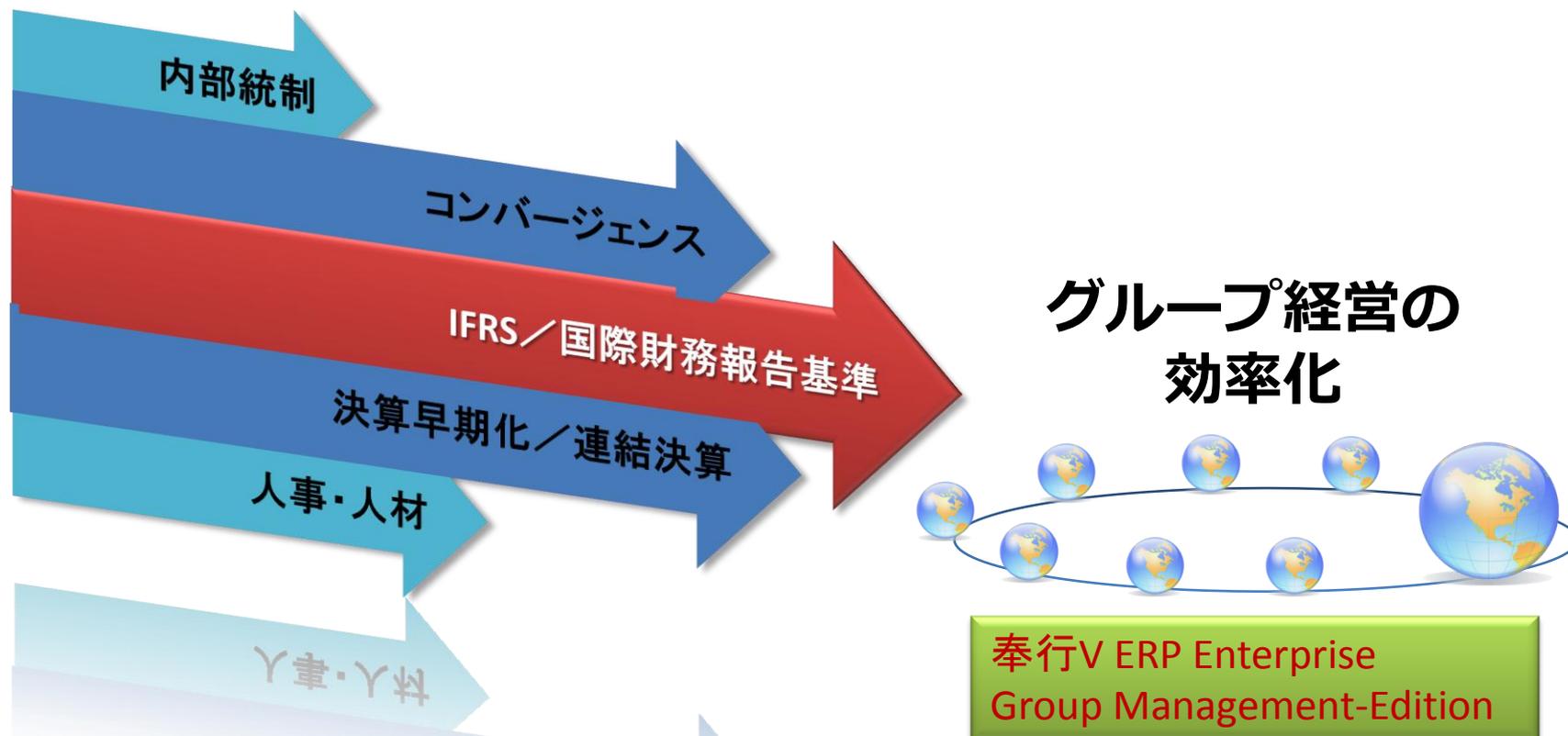
IFRS 予定	コンバージェンス						
	日本制度改正 ・セグメント会計 ・資産除去債務	6月 コンバージェンス差異解消			ここから適用しても、 2年前期首まで遡って開示し なければならない。		
奉行 V ERPの 対応	アドプション					強制 適用か？	
	IFRS任意適用		IFRS強制適用判断	遡及適用			
	<p>▲ コンバージェンス対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セグメント情報 ・資産除去債務 ・会計方針の統一 (関連会社) 						
		<p>▲ 移行期シミュレーション(アドプション項目の準備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過年度遡及修正 (会計方針の変更、誤謬修正) ・財務諸表の表示 (包括利益、廃止事業) ・無形資産 (研究開発費) ・企業結合 (のれんの非償却、のれんの減損) 					
		<ul style="list-style-type: none"> ・複数帳簿の対応 ・財務諸表の表示 (区分変更、CF計算書等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・収益認識 ・借入費用 	<p>▲ アドプション対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リース 			以降、日本の会計基準の改正、及びIFRS強制適用判断に沿って、随時機能追加予定

IFRSを控え、グループ効率化は急務に

IFRSを直前に控え、グループ企業間の統一管理による経営効率化は急務

- ・グループ各社でのシステム運用・保守
- ・業務専門知識を持つ担当者の採用と育成
- ・グループ決算の非効率

- ・グループ企業間のシステム統一による基盤強化と効率化
- ・シェアードサービスセンターの導入による業務効率化・人材育成の効率化



◆ 2010年度 クラウド元年

- マイクロソフトのアジュールおよびWPFのスタート(シルバーライト Ver.4)
- マーケティング手法を導入し、少しずつ変化を起こす
 - 奉行iメニューの成長(変化)
 - 奉行クリック(製品サイト)の成長(変化) - CRSの強化
 - メンテナンス制度、補佐役の見直し
 - WPFへの戦略的スタート(次世代奉行)⇒多通貨対応、パフォーマンス向上

◆ 09/10~12月 第3ステージ Windows7の登場 奉行iシリーズの出荷

◆ 08/9~12月 第1ステージ ネットを活用した新しいソフトウェア⇒ソフトウェア概念を変える 第一歩

- アップデートサービス
- マイページ

08年

09年

2010年

- ◆ 奉行iシリーズは、クラウド化時代の基盤技術を盛り込んでいる
- ◆ 基本プログラムとダウンロード型・Web型ハイブリッド型クラウドサービスとして融合可能



クラウド

大企業

◆ 09/4~6月 第2ステージ

SaaSはクラウドコンピューティングの大きなポイント
お客様に新たに選択して頂ける商品として提供することが可能かどうかテスト
(イノベーションであれば、全てが流れて行く)

- J-SaaS ⇒ 経済産業省の中小企業IT J-SaaSがスタートする
- 奉行クリック ⇒ 新しいマーケティングの世界を展開して行く

- ◆ クラウド市場は大手市場からゆっくり浸透へ
- ◆ SMB(中小企業)市場もゆるやかな変化に対応する基盤の準備が必要へ



中国戦略

- ◆「Windows 7」対応の奉行シリーズ＝多通貨、多言語に対応
- ◆オプションコンポーネント …… 奉行VERP用のオプションコンポーネント開発

上海における開発状況

- ◆奉行VERPのカスタマイズ開発
- ◆奉行VERP用のオプションコンポーネントの開発

会社名	出資比率	主な事業	主な役割や特徴
上海欧比西晟峰軟件	99.4%	日本企業を顧客としたソフト開発受託	<ul style="list-style-type: none"> ◆奉行VERPのブリッジSE部隊としての役割 ◆奉行VERP用のオプションコンポーネントの設計
上海晟欧軟件	—	日本及び中国国内向けのソフト開発	<ul style="list-style-type: none"> ◆奉行VERPのカスタマイズ開発及び奉行VERP用のオプションコンポーネントの開発
新中大軟件	上海欧比西晟峰軟件 33.7%	財務会計ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ◆中国財務会計ソフト3位、12%シェア ◆省や県が使う公会計ソフトに強い ◆中国国内に48の販売拠点を持つ
上海博科資訊股份	16.6%	物流・財務会計ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ◆中国財務会計ソフト第7位 ◆OBCの「次世代奉行シリーズ」と組み合わせることで、日系企業の経営効率を高めるソリューションを提供可能 ◆中国国内販売拠点30

企業名	出資年月	出資比率	業務内容
フリービット(株)	2005年5月	2.5%	インターネットビジネス支援事業を展開しており、フリービット社と共同で、VPN接続を複雑な設定やソフトのインストールを行わずに実現する「OBCセキュアアクセスキー」を開発、販売。
(株)エムピー経営	2005年12月	9.6%	経営計画シミュレーションソフトウェア「MAP経営シミュレーションII」を開発・販売。中小企業経営者の経営計画実践をサポート。
(株)ディーバ	2006年3月	4.7%	連結会計システム「Diva System」を開発・販売。大手上市企業を中心に、企業の情報開示や連結経営をサポート。
ユニオンソフト(株)	2006年4月	29.8%	当社の奉行シリーズと連動して使用する手形管理システム「手形の達人」や資金繰り管理システム「資金繰りの達人」を開発・販売。

本日はありがとうございました。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

www.obc.co.jp